

2025年2月14日 開示



東映株式会社

# 2025年3月期連結決算 第3四半期説明資料

(2024/4~2024/12)



公式LINE【東映IR News】



公式X【東映公式ニュース】



# 2025年3月期第3四半期決算（連結）

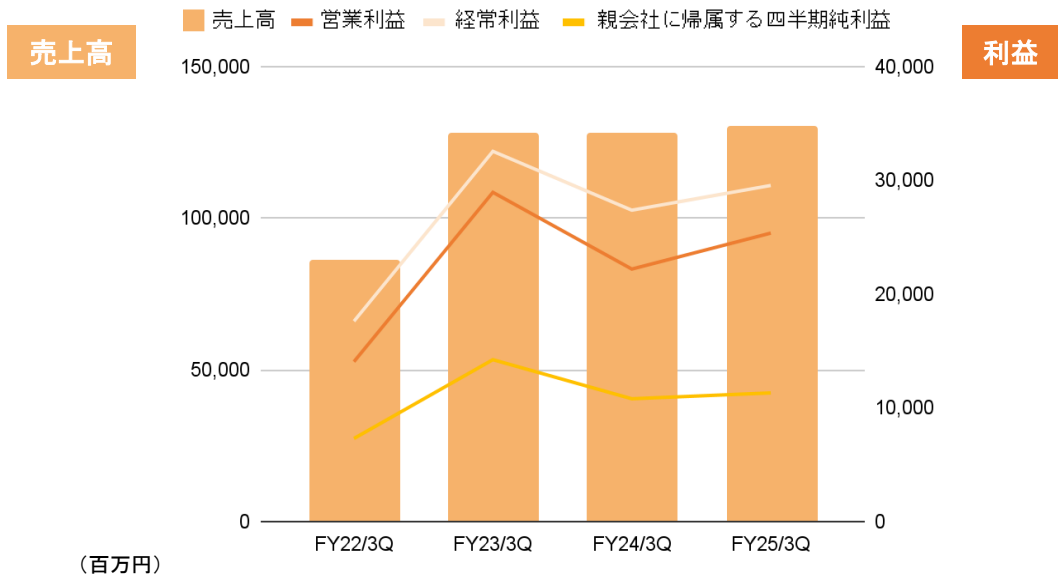
（百万円）	FY22/3Q	FY23/3Q	FY24/3Q	FY25/3Q	前期比較	
売上高	86,492	128,160	128,386	130,410	2,024	1.6%
売上原価	50,735	74,598	78,528	75,990	▲2,537	▲3.2%
販管費	21,712	24,623	27,668	29,067	1,399	5.1%
営業利益	14,044	28,939	22,189	25,352	3,162	14.3%
経常利益	17,601	32,546	27,367	29,543	2,176	8.0%
親会社株主に帰属する純利益	7,288	14,220	10,782	11,298	516	4.8%

※FY=会計年度：FY25/3Qは2024年4月～2024年12月の期間 ※百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 売上高 1,304億1千万円（前期比1.6%増）
- 営業利益 253億5千2百万円（前期比14.3%増）
- 経常利益 295億4千3百万円（前期比8.0%増）
- 親会社株主に帰属する純利益 112億9千8百万円（前期比4.8%増）

⇒2004年以降の同期比較で

**売上高第1位、営業利益第2位、経常利益第2位、親会社株主に帰属する四半期純利益第2位**



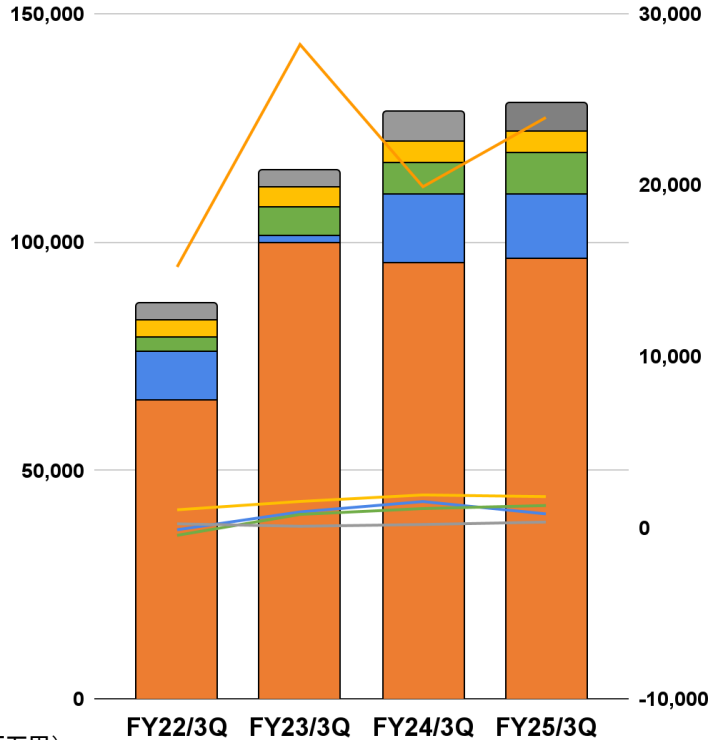
<分析>

●映像コンテンツのマルチユース展開（商品販売、著作権販売、放送・配信権許諾販売、イベント、海外販売等）が引き続き好調。また劇場用映画『帰ってきた あぶない刑事』『わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！』がヒットし、売上高は好調だった前期を超えた。

●前期計上していた劇場用映画『聖闘士星矢The Beginning』の製作品評価損が消失し、営業利益が増加した。

# 2025年3月期第3四半期 セグメント別分析 (連結) 【全体】

売上高



利益

セグメント	サブセグメント	FY24/3Q	FY25/3Q	増減	比較増減	セグメント割合
映像関連事業	映画	8,557	3,123	▲5,433	▲63.5%	3.2%
	ドラマ	7,776	7,351	▲425	▲5.5%	7.6%
	コンテンツ	63,373	71,385	8,011	12.6%	73.9%
	その他	15,925	14,798	▲1,127	▲7.1%	15.3%
	売上高合計	95,633	96,658	1,024	1.1%	100.0%
	利益合計	19,895	23,936	4,041	20.3%	
興行関連事業	売上高合計	15,192	14,161	▲1,031	▲6.8%	100.0%
	利益合計	1,519	800	▲719	▲47.3%	
催事関連事業	催事	5,380	7,365	1,985	36.9%	83.6%
	映画村	1,387	1,443	56	4.0%	16.4%
	売上高合計	6,767	8,808	2,041	30.2%	100.0%
	利益合計	1,110	1,288	178	16.0%	
観光不動産関連事業	不動産賃貸	3,268	3,380	111	3.4%	68.1%
	ホテル	1,453	1,582	128	8.9%	31.9%
	売上高合計	4,722	4,962	240	5.1%	100.0%
	利益合計	1,906	1,808	▲97	▲5.1%	
建築内装関連事業	売上高合計	6,069	5,819	▲250	▲4.1%	100.0%
	利益合計	180	322	142	78.9%	
売上高合計		128,386	130,410	2,024	1.6%	
利益調整額		▲2,422	▲2,804	▲382		
利益合計		22,189	25,352	3,162	14.3%	

※百万円未満を切り捨てて表示しております。

(百万円)

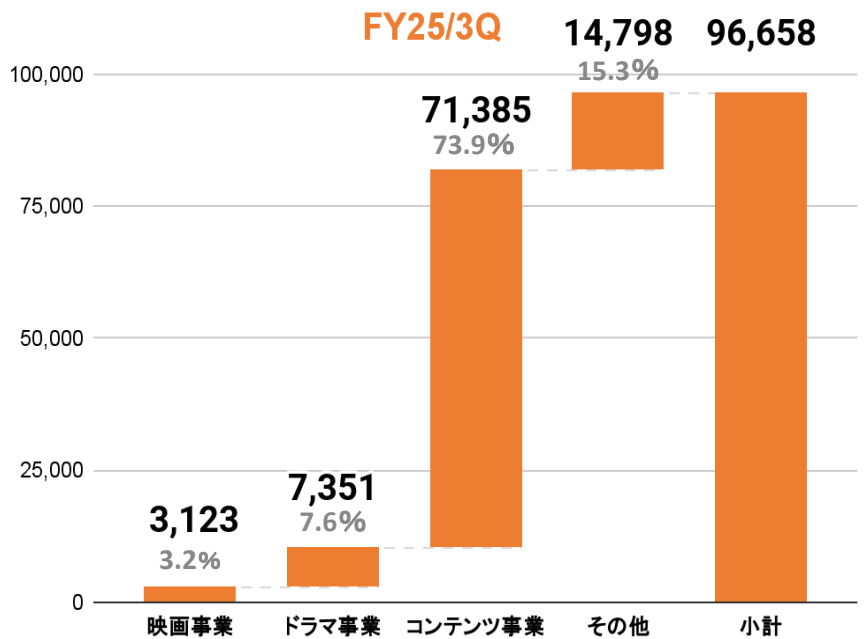
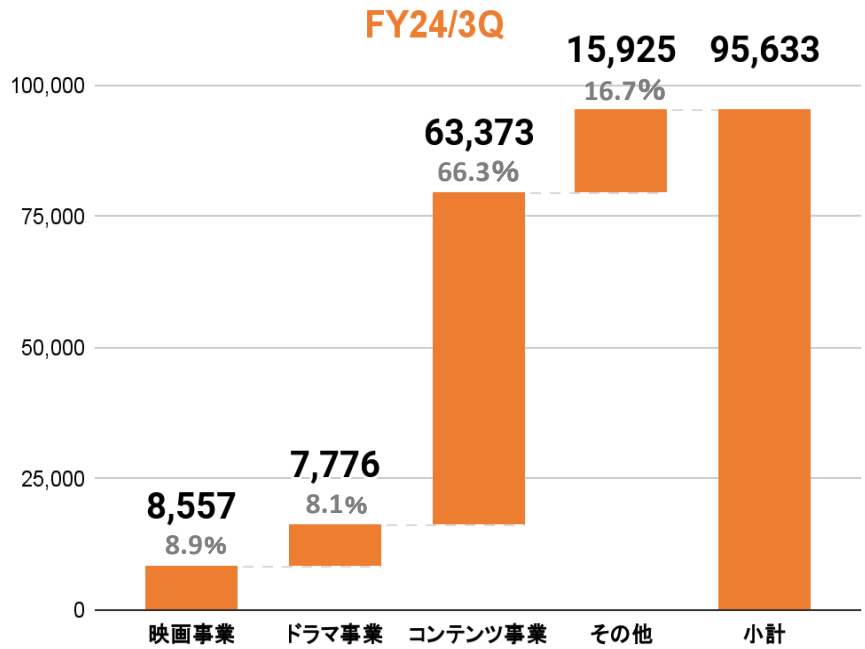
# 2025年3月期第3四半期 セグメント別分析 (連結) 【映像関連事業】

(百万円)		FY24/3Q	FY25/3Q	増減比率	
映像関連事業	売上高	95,633	96,658	1,024	1.1%
	利益	19,895	23,936	4,041	20.3%

●売上高は、コンテンツ事業のテレビ映画『ワンピース』『ドラゴンボール』シリーズ、劇場用映画『THE FIRST SLAM DUNK』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』の国内外の配信権販売などによる増収、またアニメ版權において『ドラゴンボール』『ワンピース』が好調となり、映画事業の減収を補い、前期比で微増となった。

●利益は、前期計上された劇場用映画『聖闘士星矢The Beginning』の製作品評価損がなくなったため前期比で増益となった。

## 【サブセグメント別売上高】

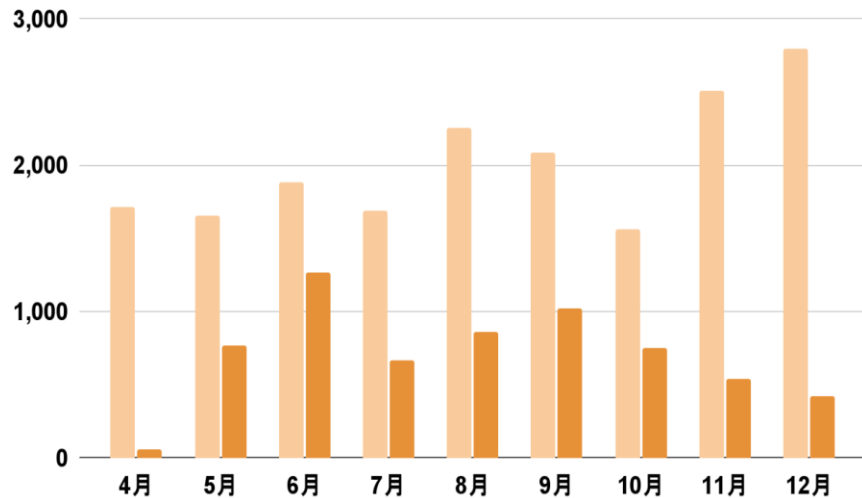


月間興行収入(億円)

	FY24	FY25	前年度比	FY25月別の主な稼働作品
4月	17.1	0.6	3.5%	『映画おしりたんていさらば愛しき相棒(おしりよ)』 『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』
5月	16.5	7.7	46.6%	『帰ってきた あぶない刑事』 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』再上映
6月	18.8	12.6	67.0%	『帰ってきた あぶない刑事』 『BELIEVE 日本バスケを諦めなかった男たち』 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』再上映
7月	16.8	6.6	39.3%	『逃走中 THE MOVIE』 『映画 仮面ライダーガッチャードザ・フューチャー・ディブレイク／爆上戦隊ブンブンジャー 劇場BOON！プロミス・ザ・サーキット』
8月	22.5	8.6	38.1%	『THE FIRST SLAM DUNK 復活上映』 『映画 仮面ライダーガッチャードザ・フューチャー・ディブレイク／爆上戦隊ブンブンジャー 劇場BOON！プロミス・ザ・サーキット』
9月	20.8	10.2	49.0%	『わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！ドキドキゲームの世界で大冒険！』
10月	15.5	7.5	48.3%	『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎 真生版』 『わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！ドキドキゲームの世界で大冒険！』 『ポルテスVレガシー』
11月	25.0	5.4	21.4%	『十一人の賊軍』 『わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！ドキドキゲームの世界で大冒険！』 『リバイバル上映「楽園追放 -Impelled by 10th Anniversary-」』
12月	27.9	4.2	15.0%	『【推しの子】-The Final Act-』 『劇場版アイカツ！』メモリアルアンコール』
合計	180.9	63.4	35.0%	

月間興行収入

■ FY24 ■ FY25



FY25/3Q(10月～12月)の 主な稼働作品名	公開日	興収(億円) ※3Q期間迄
鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎 真生版	10月4日	4.3
十一人の賊軍	11月1日	3.9
【推しの子】-The Final Act-	12月20日	3.3

※百万円未満を切り捨てて表示しております。

## サブセグメント

【映画】 売上高 31億2千3百万円（前期比63.5%減）

●提携製作作品等29本を配給し、このうち、『帰ってきた あぶない刑事』、『わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！ドキドキゲームの世界で大冒険！』がヒット

### 高稼働作品：フランチャイズ作品の貢献

#### 『帰ってきた あぶない刑事』

テレビ局、ロケ地である横浜とのタイアップ、商品タイアップを実施。興行収入16.4億円を達成



### 今後の期待作：中長期ビジョンに基づく多様な戦略的ラインナップ

#### 『35年目のラブレター』

夫婦愛を描く感涙の実話



#### 『宝島』

大友啓史×直木賞原作のサスペンス感動超大作



#### 『ガールズバンドクライ』

劇場版総集編前編・後編

東映アニメ製作ガールズバンドアニメ。



## TOPIC

### 2025-26東映ラインナップ発表会

直木賞受賞の超大作からグローバルに展開するアニメ映画まで！

2024年1月16日（木）、丸の内TOEIにて、「2025-2026 東映ラインナップ発表会」を開催いたしました。

鈴木亮平、有村架純が兄妹役として出演の話題作『花まんま』（前田哲監督）、妻夫木聡、広瀬すず、窪田正孝、永山瑛太出演による超大作『宝島』（大友啓史監督）といった直木賞受賞のベストセラー待望の映画化作品や、STUDIO4°Cが手掛ける意欲作『ChaO』（青木康浩監督）、シンエイ動画×富嶽による太平洋戦争終戦80周年記念超大作『ペリリュー-楽園のゲルニカ-(仮)』（久慈悟郎監督）と全世界を見据えたグローバルなアニメーション作品など、2025年も幅広いジャンルのバラエティに富んだ作品を数多くラインナップします。



### Dolby Cinema Awards 2024 受賞



日本の「コンテンツ産業の国際的な発展」と「鑑賞体験の劇的な向上」に貢献した作品と製作者に与えられる、「Dolby Cinema Japan Awards 2024」の表彰式が、10/31（木）開催され、『樂き逃げー最高の最悪な日ー』が「初Dolby Cinema賞」（実写劇映画部門）を受賞しました。

また、東映東京撮影所内に日本初のドルビーアトモス対応ダビングステージを導入し、日本の映画制作環境を革新したことが評価され、東映株式会社として「特別賞」を受賞しました。

## サブセグメント

## 【ドラマ】売上高 73億5千1百万円 (前期比5.5%減)

- 『科捜研の女 season24』『特捜 9 season 7』『相棒 season23』『君とゆきて咲く～新選組青春録～』『仮面ライダーガッチャード』『仮面ライダーガヴ』『爆上戦隊ブンブンジャー』『わんだふるぷりきゅあ!』『ブラック・ジャック』等を製作して作品内容の充実と受注本数の確保に努めた
- 特撮キャラクターの国内商品化権営業は玩具等に関する消費者の嗜好が多様化するなか堅調に推移

## 2024年10月～12月放送作品

- 2024年3月3日～ 『爆上戦隊ブンブンジャー』 (テレビ朝日系)
- 2024年9月1日～ 『仮面ライダーガヴ』 (テレビ朝日系)
- 2024年10月16日～ 『相棒 season23』 (テレビ朝日系)
- 2024年12月8日 『三屋清左衛門残日録～春を待つところ～』 (日本映画+時代劇 4K)



## IPタイアップ・ゲームコラボ展開

- ・「仮面ライダー」「スーパー戦隊」シリーズを中心に様々なキャンペーンやゲームコラボが売上高を牽引
- ・ゲーム: 「コトダマン」「ぷよぷよ!!クエスト」「荒野行動」等
- ・キャンペーン: 株式会社Q Tnet、大塚製薬株式会社等とのタイアップ

## 東映京都撮影所の時代劇

- 12/8放送 『三屋清左衛門残日録～春を待つところ～』のほか
- 1/4放送 新春時代劇『新・暴れん坊将軍』など、東映京都撮影所で時代劇を制作



## TOPIC

## スーパー戦隊シリーズ50周年

## 『ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー』



1975年に『秘密戦隊ゴレンジャー』がスタートしてから半世紀が経ち、今年2025年にスーパー戦隊シリーズは50周年を迎えます。記念すべき年に誕生した『ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー』は2月16日(日)から放送開始となりました。

\* 毎週日曜午前9:30～10:00に放送(テレビ朝日系24局)

スーパー戦隊シリーズ50周年を盛り上げるべく他社IPとのコラボプロジェクトも準備中です。



## サブセグメント

【コンテンツ】 売上高 713億8千5百万円（前期比12.6%増）

映像作品の2次利用販売を行った

## ●配信

・『ワンピース』『ドラゴンボール』シリーズ、劇場用映画『THE FIRST SLAM DUNK』『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』の国内外の配信権販売が好調

・『七つの国』 全10話をディズニープラスで配信し、売上高に大きく貢献

・『【推しの子】』

映画公開と連動しAmazonプライムビデオで全8話を配信。日本のAmazonオリジナル作品で「配信後の30日間・国内視聴数」歴代1位。海外はAmazonにて全世界配信中



## ●アニメ 版權

・国内：『ドラゴンボール DAIMA』関連の売上高が好調

・海外：北米で『ワンピース』カードゲームが好調

## ●海外映像販売

『仮面ライダーガヴ』『ビーロボカブタック』『動物戦隊ジュウオウジャー』『ワンピース』『ドラゴンボール』シリーズ等が好調に稼働

【その他】 売上高 147億9千8百万円（前期比7.1%減）

・TVアニメ『ワンピース』25周年、その他『プリキュア』シリーズ

『おジャ魔女どれみ』『デジモン』『ゲゲゲの鬼太郎』のイベントが好調

・アニメ商品事業は、昨年高稼働した『THE FIRST SLAM DUNK』の影響で反動減

## 『およげないん』



## TOPIC

およげなくなってしまった9匹の水の生き物のものがたり。  
昨年12月に各SNSで4コマ、1コマ漫画が始まり、今年1月よりガシャボンの発売開始、2月には実写ドラマ化（東映特撮ファンクラブ）。

※「ガシャボン」は株式会社バンダイの登録商標です。

## 劇場版『風都探偵 仮面ライダースカルの肖像』

『仮面ライダーW』のスピノフ漫画『風都探偵』（小学館刊）のアニメ化。アニメシリーズ化を経て長編映画が劇場公開（11月）。



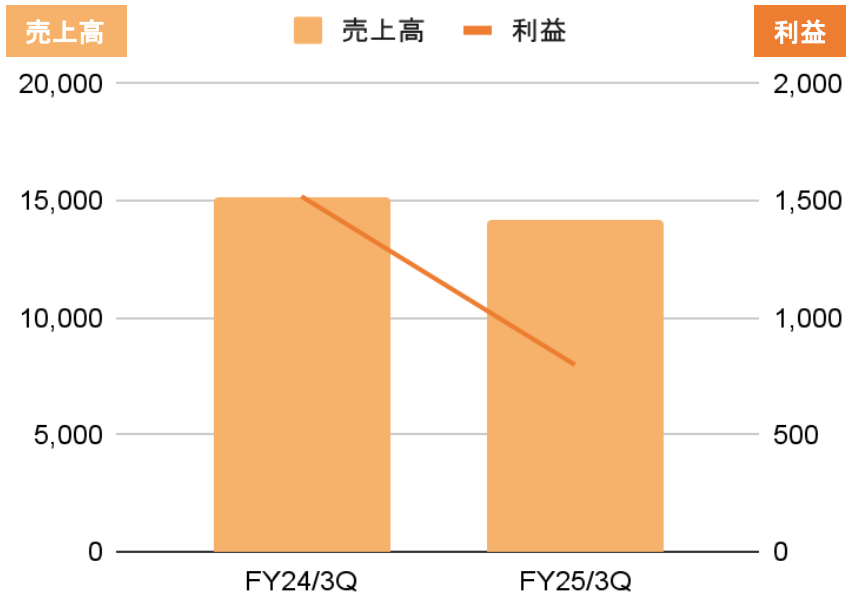
## 『ボルテスV レガシー』

1977年放送のアニメ『超電磁マシンボルテスV』の海外リメイク版が日本で劇場公開（10月）&TV放送開始（11月）。





(百万円)		FY24/3Q	FY25/3Q	増減比率	
興行関連事業	売上高	15,192	14,161	▲1,031	▲6.8%
	利益	1,519	800	▲719	▲47.3%



(百万円)

- 23サイト232スクリーン体制（東映㈱直営館2スクリーン含む）で展開

- 株式会社ティ・ジョイによるシネマコンプレックス（共同経営・共同運営）の運営が中心

- ・『名探偵コナン 100万ドルの五稜星』『キングダム 大將軍の帰還』『ルックバック』『ラストマイル』等の作品が業績を牽引したものの前期には及ばず減収減益

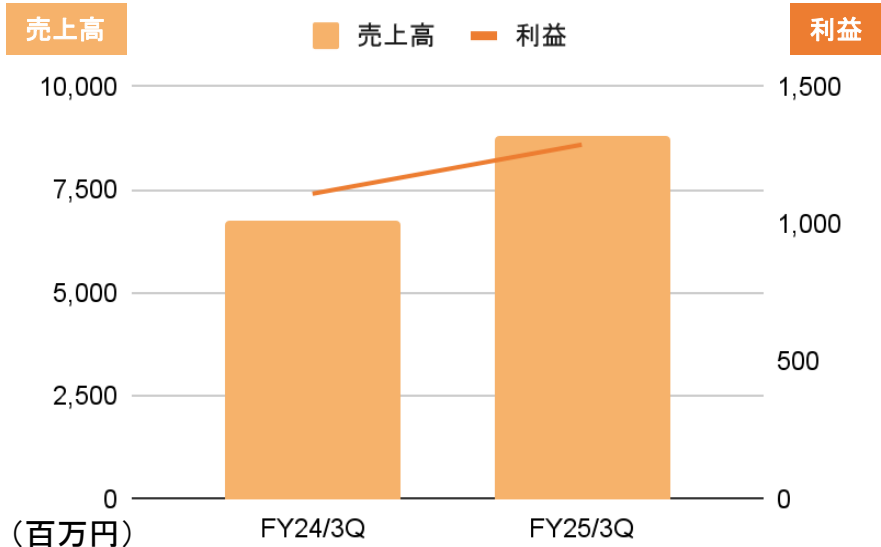
- ・映画興行業界全体が前期比約10%減少

- ・ラージフォーマットの積極的導入により劇場の高付加価値化と差別化を図る（6月T・ジョイ京都、9月T・ジョイエミテラス所沢、12月横浜ブルク13）

- ・2024年9月に開業したT・ジョイエミテラス所沢は好調に稼働

- ・最低賃金上昇に伴う人件費の高騰やT・ジョイエミテラス所沢の開業費用の当期一括計上等が影響し減益幅が増加

(百万円)		FY24/3Q	FY25/3Q	増減比率	
催事関連事業	売上高	6,767	8,808	2,041	30.2%
	利益	1,110	1,288	178	16.0%



## サブセグメント【東映太秦映画村】

売上高 14億4千3百万円 (前期比 4.0%増)

## ●東映太秦映画村

- ・リニューアル工事により営業エリアの一部を制限しているものの、来場者数を維持

- ・インバウンドの比率が緩やかに上昇し、今後の増加を見込む

## サブセグメント【催事】

売上高 73億6千5百万円 (前期比36.9%増)

## ●イベント事業

- ・自社IPイベント『王様戦隊キングオージャーファイナルライブツアー2024』『爆上戦隊ブンブンジャーショー』(Gロッソ)等の定番イベントが業績を牽引した一方、『ONE PIECE EMOTION』東京会場は利益の確保に苦戦し利益率が減少

- ・他社IPイベント『北斗の拳40周年大原画展』『ダンジョン飯迷宮探索展』などが利益貢献

## ●商品事業

- ・劇場商品：『THE FIRST SLAM DUNK』など大ヒット作品が続いた昨年の反動減

- ・オンラインストア：『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』『帰ってきたあぶない刑事』の高額商品、受注商品が好調に推移し前年と比較し大幅に収益増

- ・仮面ライダーストア：第1四半期で落ち込みがあるものの、第3四半期で『仮面ライダー ガヴ』関連商品が好調に推移

## TOPIC

## 海外展開

## 【アジア各国でのイベント展開を推進】

『生誕50周年記念 THE 仮面ライダー展』

- ・香港

2024年9月～11月, INCUBASE Arena

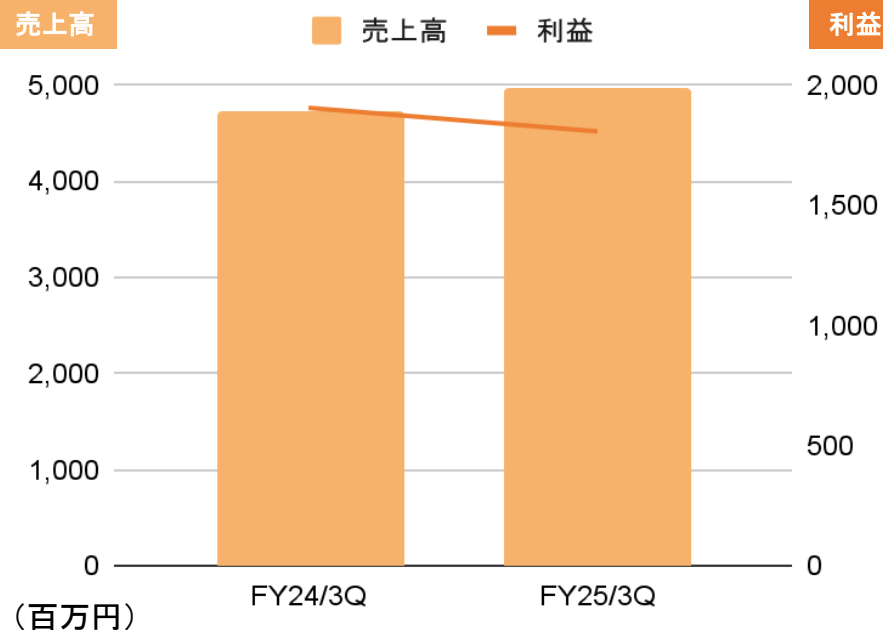
- ・マレーシア

2025年1月～3月, INCUBASE Arena Malaysia

そのほかアジア各国を巡回予定



(百万円)		FY24/3Q	FY25/3Q	増減比率	
観光不動産 事業	売上高	4,722	4,962	240	5.1%
	利益	1,906	1,808	▲97	▲5.1%



## サブセグメント

## 【不動産賃貸】 売上高 33億8千万円（前期比3.4%増）

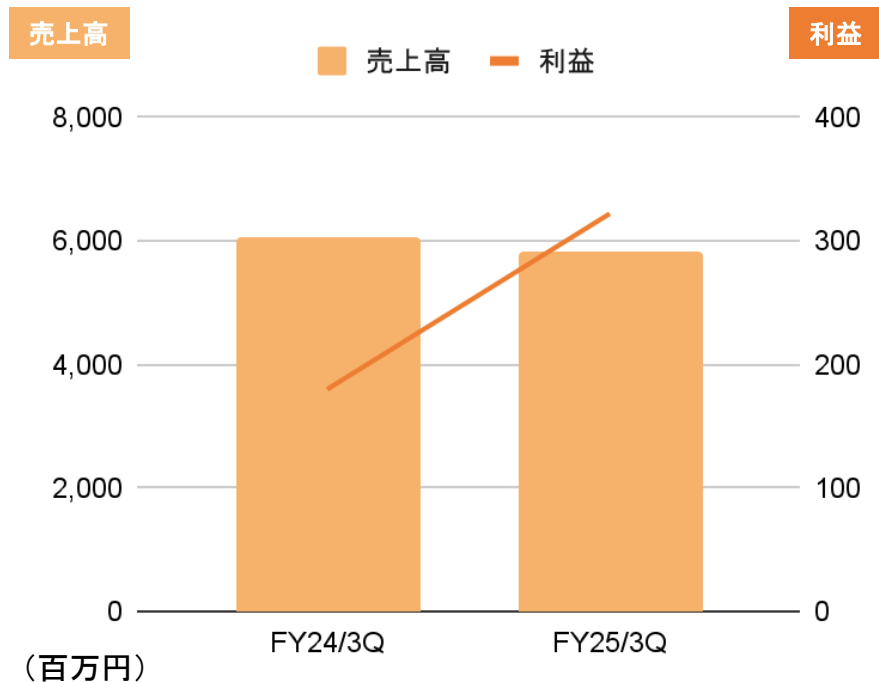
- 全国に所有する「東映プラザ（渋谷・福岡・広島・仙台）」「新宿三丁目イーストビル」等の複合商業施設、マンション等の賃貸運営が堅調に推移
- 商業、レジデンス、オフィス物件のリーシングを強化し、賃貸が高稼働で推移
- 映画村再開発に伴う建物等の早期償却により減価償却費が増加

## サブセグメント

## 【ホテル】 売上高 15億8千2百万円（前期比8.9%増）

- インバウンド需要や団体利用の回復が見られる反面、光熱費等の物価高の影響を受けるが、販売価格改定やコスト管理の徹底に努め収益を確保
- インバウンドの増加（前年同期比）  
湯沢東映ホテル113.6%、福岡東映ホテル128%

(百万円)		FY24/3Q	FY25/3Q	増減比率	
建築内装事業	売上高	6,069	5,819	▲250	▲4.1%
	利益	180	322	142	78.9%



- 株式会社東映建工が各興行会社シネマコンプレックスの新規工事や改装工事を受注
- 資材や経費の高騰、労働力の不足及び確保など厳しい経営環境の中、原価の削減により利益を確保
- 老健施設の売上高が堅調に推移

# 參考資料

# 東映グループのビジネスモデル

## ① 自ら企画製作し、

多様で魅力的な作品群を企画

- ・ 劇場映画 4,400作品以上
- ・ テレビ映画 39,000話以上
- ・ 配信映画 600話以上

オリジナル

原作もの



映像製作インフラ

- ・ 撮影からポストプロダクションまでのワンストップ体制

撮影



東京撮影所



京都撮影所

映像研究



ツクバ研究所

ポストプロ



東映ラボ・テック

アニメ



大泉スタジオ

## ② マルチユース展開

- ・ 劇場からテレビ、ネット配信までマルチチャネルをカバー

配給

DVD Blu-ray

興行

商品化

テレビ放送

書籍化

配信

ゲーム化

イベント化

舞台化

海外展開



ティ・ジョイ



東映  
オンラインストア



東映特撮  
YouTube Official

## ③ 作品をフランチャイズ化することで接点を増加

IPが生み出す収益の最大化を目指す

# 収益 最大化

IP認知度向上  
ファン化等

利益の積重ね

企画



製作



マルチ  
ユース



利益の積重ね

企画



製作



マルチ  
ユース



IP

接点  
増加

# 主な取り組み

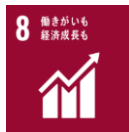
- マテリアリティ・価値創造プロセスの策定
- サステナビリティの取り組み
- 東映グループ社員持株会の導入
- 短編映画『あめだま』（英題：Magic Candies）第97回アカデミー賞® 短編アニメーション部門ノミネート
- 丸の内TOEI閉館プロジェクト

## 【マテリアリティ】

『愛される「ものがたり」を全世界に』という東映グループの使命のもと、東映グループ中長期 VISION 「To the World, To the Future - 「ものがたり」で世界と未来を彩る会社へ-」の実現に向けたマテリアリティ（重要課題）を策定いたしました（2025年1月22日開催取締役会決議）。目指す姿の実現に向けて、マテリアリティに対する重点施策を経営計画等に反映し、取り組みを進めます。

### 【創出を目指す価値】

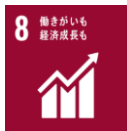
愛される『ものがたり』をつくり、届け続ける



### 【価値を生み出す資本】

クリエイティビティを発揮するための人的投資

- ・多様な人材の登用と活躍
- ・安心して働ける職場環境の構築



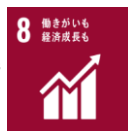
グローバル展開を目指したIP創出力の増強

- ・東京撮影所・京都撮影所・アニメーション製作スタジオ等の拡充
- ・先端映像テクノロジー、撮影設備技術への投資



国内外パートナーとの連携強化

- ・海外ネットワークの構築
- ・イベント、マーチャンダイジングへの展開促進
- ・データドリブン/マーケティングの強化



### 【企業価値創出を支える基盤】

知的財産の保護と活用

- ・ライブラリー、保有IPの活用
- ・海賊版対応と法務機能の強化
- ・映像文化の継承



サステナビリティ経営の高度化

- ・法令順守の徹底、ガバナンスの高度化
- ・情報セキュリティの強化
- ・気候変動への適応





# マテリアリティ・価値創造プロセスの策定

## 【価値創造プロセス】

価値創造プロセスを循環させ続けることで、当社グループの持続的な企業価値向上を目指し、社会の持続的な発展に貢献してまいります。

### 愛される『ものがたり』を全世界に

#### 企業価値の向上

2033年数値目標：売上構成比率海外50%、営業利益250~400億円、ROE8%以上

#### 社会価値の向上

「ものがたり」で世界の人々の心を彩り、持続可能な社会づくりに貢献

Outcomes

Inputs

Business Activities

Outputs

#### ①つくる力

- ・人気シリーズを含む多様で魅力的な作品群を生み出してきた企画製作力
- IPプロデュース人材
- 国内外企業やクリエイターとのネットワーク
- 先端的な映像制作技術

- ・本邦唯一の映像製作インフラ（撮影からポストプロダクションまでのワンストップ体制）
- 東京撮影所、京都撮影所、アニメーションスタジオ、東映ラボ・テック、ツークン研究所

#### ②拡げる力

- ・IPホルダーとしてのマルチユース展開力
- 豊富なライブラリ
- 営業・マーケティング人材
- 国内外企業とのパートナーシップ
- 全国展開の劇場チェーンやテーマパーク

#### ③支える力

- ・ボラティリティの高い映像製作を継続的に支える基盤
- 多角的な事業展開（イベント事業や不動産事業等）
- 安定した財務資本

企画～マルチユース展開のサイクルを通じてIPとの接点を増大  
コンテンツの認知度向上・ファン化等を通じて収益を最大化

収益最大化

企画

IP認知度向上  
ファン化

マテリアリティ

製作

マルチ  
ユース

#### マテリアリティ

- ①愛される『ものがたり』をつくり、届け続ける
- ②クリエイティビティを発揮するための人的投資
- ③グローバル展開を目指したIP創出力の増強
- ④国内外パートナーとの連携強化
- ⑤知的財産の保護と活用
- ⑥サステナビリティ経営の高度化

#### 売上高（2024年3月期）

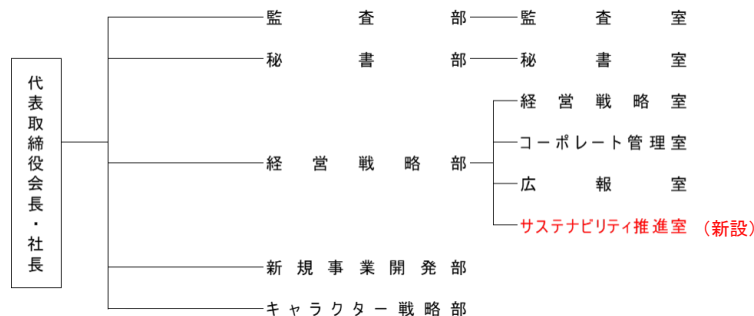
映像関連事業	1,259億円
興行関連事業	201億円
催事関連事業	100億円
観光不動産関連事業	64億円
建築内装関連事業	86億円

#### 愛されるものがたり

劇場映画	4,400作品以上
テレビ映画	39,000話以上
配信映画	600話以上

### 【サステナビリティ推進室 新設】

東映グループのサステナビリティ経営をより一層推進していくため、2025年1月1日経営戦略部に「サステナビリティ推進室」を新設しました。



### 【映像制作現場の働き方改革】

当社では映画やテレビドラマの撮影前にリスペクト・トレーニングの実施を原則義務化しており、互いに敬意をもって働くことの重要性を確認した上で撮影を行っています。当社が委託するピースマインド株式会社が行うリスペクト・トレーニングは、日本映画制作適正化機構が推奨しており、当社では2021年以降、約70作品を実施してきました。

今回、ピースマインド株式会社代表取締役社長の荻原英人氏と当社の小嶋雄嗣取締役（映像本部副本部長兼撮影所事業部門長）、重盛雄一上席執行役員（人事部長）の3名で働き方改革に関する鼎談を行いました。

鼎談記事：<https://www.toei.co.jp/sustainability/pdf/teidan.pdf>

当社は、東映(株)および一部の東映グループ会社を対象とする従業員持株会を設立いたしました。

### 【導入の目的】

- 人的資本投資として
- 従業員の資産形成を後押し
- 従業員の経営参画意識向上を図る

東映グループ中長期ビジョン実現の原動力へ

- ・ 入会資格  
東映(株)および一部の東映グループ会社従業員
- ・ 開始時期  
2025年3月より拠出開始
- ・ 拠出金  
1口1,000円とし、上限100口まで  
(賞与からは毎月拠出金の3倍)
- ・ 奨励金付与率  
拠出金の10%
- ・ 退会時期  
任意及び退職時
- ・ 事務委託証券会社  
野村證券株式会社

## 短編映画『あめだま』（英題：Magic Candies）

### 第97回アカデミー賞® 短編アニメーション部門ノミネート

映画芸術科学アカデミーによる、第97回アカデミー賞のノミネート作品の発表が行われ（1月23日（現地時間））、東映アニメーション製作の短編映画「あめだま」（英題：Magic Candies）が、短編アニメーション部門にノミネートされました。

また本作は、数々の賞を受賞しています。

・第25回ニューヨーク国際子ども映画祭（米国）  
アニメーション短編・審査員最優秀賞

・第38回シネキッド・フェスティバル（オランダ）  
最優秀国際短編映画賞

・第64回ズリーン国際映画祭（チェコ）  
ゴールデン・スリッパ最優秀子ども短編賞

・第43回ケンブリッジ映画祭（イギリス）  
観客賞

・第19回札幌国際短編映画祭（日本）  
ジャパン・プレミア・アワード

・第31回キネコ国際映画祭（日本）  
短編部門日本作品賞

### ストーリー

「一人で遊ぶのも悪くない...」  
公園で遊んでいる子供たちを眺めながら、片隅で一人でビー玉遊びをしているドンドン。  
彼に寄り添うのは年老いた犬のグスリだけ。  
新しいビー玉が欲しくて文具屋に行ったドドンは、店主のおじいさんから、ビー玉の代わりにあめだま一袋を買うことになる。  
家に帰って色とりどりのあめだまから一粒選んで口に入ると、どこからか自分の名前を呼ぶ声が聞こえ始めて...？

心の方が聞こえるようになる、不思議なあめだま。  
あなたは誰の声が聞きたいですか？



作品公式▼  
[https://www.toei-anim.co.jp/movie/magic\\_candies/](https://www.toei-anim.co.jp/movie/magic_candies/)

## 丸の内TOEI閉館プロジェクト

1960年9月20日に開業した映画館「丸の内TOEI」が、東映会館の再開発に伴い、2025年7月27日（日）をもって閉館します。

それに伴い、閉館に向けた関連事業「さよなら丸の内TOEI」を実施いたします。

『仁義なき戦い』シリーズの一举上映、『鉄道員（ぽっぽや）』など東映を代表する人気作品、また『ONE PIECE FILM RED』などの最新人気作の再上映など、数多くの東映作品を上映予定です。

また、閉館記念パンフレットやグッズの販売など、国内大手映画配給会社を持つ最後の直営館として、お客様の劇場体験を盛り上げる各種イベントを開催する予定です。

続報にご期待ください。



丸の内TOEI（1977）



丸の内TOEI（現在）

さよなら丸の内TOEI公式HP▼  
<https://marunouchi-toei-sayonara0727.jp/>



さよなら丸の内TOEI公式X▼  
[https://x.com/m\\_toei\\_heikan](https://x.com/m_toei_heikan)



# 中長期VISION「TOEI NEW WAVE 2033」全体像

To the World , To the Future

— 「ものがたり」で世界と未来を彩る会社へ —

経営ビジョン2033

2026年で目指す姿

実写・アニメともにグローバルコンテンツの創造発信基盤を確立する

東映グループの強み

企画製作力

：

マルチユース展開

成長戦略

実写、アニメ映像事業を強化・拡大し、グローバル展開を加速する

重点施策

## 1 映像事業収益の最大化

1. 企画製作力の強化
2. コンテンツのマルチユース促進
3. IPライフサイクルの長期化

## 2 グローバル展開へのチャレンジ

1. グローバルメジャーと共同開発・世界展開
2. 現地企業とローカライズオリジナル作品の共同制作

## 3 映像事業強化のための人的投資の拡大

## 4 持続的なチャレンジと成長を支える経営基盤強化

- ① 事業基盤強化に向けた投資戦略
- ② コーポレートガバナンスの強化
- ③ サステナビリティへの取り組み
- ④ 資本・財務戦略

# 映画・テレビラインナップ

## 【映画】

- 2025年2月21日～3月13日 『結束、その先へ～侍たちの苦悩と希望～』
- 2025年3月7日 『35年目のラブレター』
- 2025年3月20日 『映画おしりたんていスター・アンド・ムーン』
- 2025年4月25日 『花まんま』
- 2025年5月30日 『BADBOYS』
- 2025年夏 『ChaO』
- 2025年夏 『この夏の星を見る』
- 2025年夏 『劇場版 仮面ライダーガヴ』（仮）
- 『劇場版 ナンバーワン戦隊ゴジウジャー』（仮）
- 2025年9月19日 『宝島』
- 2025年秋 『映画キミとアイドルプリキュア♪』（仮）
- 2025年12月5日 『ペリリューー楽園のゲルニカー』（仮）
- 2025年冬 藤井道人監督最新作
- 2025年 『ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス』
- 2025年公開予定 『ガールズバンドクライ』 劇場版総集編 前編『青春狂走曲』・後編『なあ、未来。』
- 2026年公開予定 『楽園追放心のレゾナンス』
- 公開待機作品 劇場版『僕の心のヤバイやつ』（仮）



## 【テレビ】

- 2024年3月3日～ 『爆上戦隊ブンブンジャー』（テレビ朝日系）
- 2024年9月1日～ 『仮面ライダーガヴ』（テレビ朝日系）
- 2024年10月16日～ 『相棒 Season23』（テレビ朝日系）
- 2025年2月16日～ 『ナンバーワン戦隊ゴジウジャー』（テレビ朝日系）



## 【テレビアニメーション】

- 2024年10月5日～ 『科学×冒険サバイバル!』（NHK Eテレ）
- 2024年10月11日～ 『ドラゴンボールDAIMA』（フジテレビ）
- 2024年11月3日～ 『アサティール2 未来の昔ばなし』（テレビ東京系列）
- 2025年1月11日～ 『魔法つかいプリキュア!～MIRAI DAYS～』（ABC・テレビ朝日系列）
- 2025年2月2日～ 『キミとアイドルプリキュア♪』（ABC・テレビ朝日系列）
- 2025年4月～ 『えぶりでいホスト』（テレビ東京系）



# 配信・催事 ラインナップ

## 【配信】

- 2024年12月4日 『およげないん』 デザイアロワイヤル  
2024年12月 『仮面ライダーアウトサイダーズ e p.7 アウトサイダーズと最期の戦い』  
2025年2月2日 『およげないん 京都激闘編』  
2025年春 『冥黒の黙示録 ラケセス』



## 【催事】

- ・『ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト』 2025年1月～ 東京ほか
- ・『原出版80周年 きかんしゃトーマスの世界展』 2025年3月～ 京都、高知ほか
- ・『ひつじのショーン展』 2025年3月～ 山口
- ・『シルバニアファミリー展40th』 2025年4月～ 東京ほか
- ・『キミとアイドルプリキュア♪キラッキランラン♪フェスタ♡』 2025年3月～ 熊本ほか
- ・『おしりたんていだいしゅうげつ展 in 日本モンキーパーク』 2025年3月～ 愛知

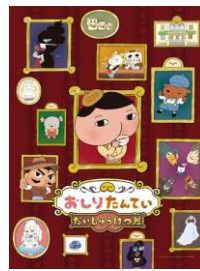
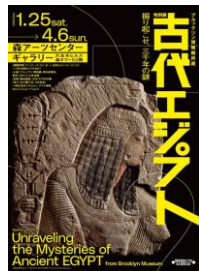


## 【ショー・舞台】

- ・『爆上戦隊ブンブンジャー ファイナルライブツアー2025』 2025年3月～ 静岡、鹿児島、福岡、宮城、北海道、愛知、長野、新潟、大阪

## 【商品】

- ・KAMEN RIDER STORE in 名古屋PARCO 2025年2月 愛知
- ・『爆上戦隊ブンブンジャー』POP UP SHOP 2025年2月～ 大阪、宮城、新潟、広島、福岡、東京、愛知、鹿児島



# 本資料について

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれていますが、実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問合せ  
東映株式会社 経営戦略部広報室  
MAIL : keisen\_koho@toei.co.jp  
担当 : 内藤 篠崎 奥本 加藤